

臼杵市 事務事業評価シート  
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
A - 10	総務課	総務グループ

事務事業名	臼杵庁舎耐震化事業（臼杵庁舎のあり方検討事業）		新規・継続	継続						
	ソフト・ハード	ハード								
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅲ-8-16	公共施設の耐震化・防災施設整備							
	関連施策名 (施策コード)	Ⅷ-22-56	市政運営を支える基盤の強化							
事業内容 (経緯)	現臼杵庁舎のあり方について建替えや移転も含めた検討を行った結果、抜本対策である建替えや移転の検討と喫緊の課題である現臼杵庁舎の耐震化を切り分けて行うという結論に至り、喫緊の課題である現臼杵庁舎の耐震補強工事を早急に実施して、市民、職員の生命、財産を守ります。									
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	臼杵庁舎のあり方検討	検討委員会や耐震化に係る事業費	円	-	3,919	5,012	223,390	
		②								
	③									
④										
事業対象	臼杵市民		成果	耐震補強工事を行った結果、臼杵庁舎東棟、西棟ともに耐震基準を満たし、喫緊の課題である臼杵庁舎の耐震化が完了しました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	現臼杵庁舎の中で一番低い耐震指標（I s値）の数値	建築物の耐震性能を示す指標		0.36	0.36	0.36	0.61	0.61		

コスト 事業費+人件費	フルコスト（千円）	内訳	国庫補助金（千円）	県補助金（千円）	市債（千円）	使用料・手数料・その他（千円）	一般財源（千円）
	225,941				223,300		2,641

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A A：適応している B：一部適応していない C：適応していない	現臼杵庁舎のあり方を検討することは、臼杵市のまちづくりや防災対策のことを検討するために必要です。	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A A：期待したとおりの効果がある B：期待したほどの効果が見られない C：効果が少ない	現臼杵庁舎のあり方を検討することによって、市民の利便性の向上や災害に強い庁舎ができます。	
	効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか A A：効率的に効果が出ている B：改善の余地がややある C：効率的に効果が出ない	現臼杵庁舎を耐震補強することによって、現臼杵庁舎の安全性が高まり、有効活用することができます。	
事業の問題・課題	現臼杵庁舎を耐震補強することによって喫緊の課題は解決しましたが、抜本対策である建替えや移転の検討を別途進める必要があります。			
前年度の改善案	耐震補強計画に基づいて、費用を抑え効果的な耐震化をできるだけ早く実施します。			
具体的な改善案				

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定（完了）	理由	現臼杵庁舎の耐震補強工事が完了して、喫緊の課題を解決しました。
------	----------------------	----	---------------------------------

臼杵市 事務事業評価シート  
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
A - 11	総務課	総務グループ

事務事業名		旧臼杵商業高校整備事業						新規・継続	新規	
		ソフト・ハード		ハード						
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VIII-22-56	市政運営を支える基盤の強化							
	関連施策名(施策コード)	III-8-15	防災・減災のための整備							
		II-5-11	地域内交流・地域間連携							
事業内容(経緯)		旧臼杵商業高校跡地を購入して、福祉の拠点施設、地元地域の振興拠点施設、災害対策拠点施設、市公文書保管施設及び社会体育施設として活用を図ります。								
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	3棟の整備	3棟(管理棟、普通教室棟、特別教室棟)	棟	-	-	-	-	3
		②								
		④								
事業対象		臼杵市民	成果	旧臼杵商業高校跡地を県より購入し、建物の現況調査を実施して活用を図る準備を行いました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	施設の利用状況	利用延べ人数	人					3,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	77,418				69,400		8,018

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		旧臼杵商業高校跡地を購入して活用することは、臼杵市内にある県有施設の有効利用になります。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		臼杵市内にある県有施設を購入して有効活用することにより、公共施設の整備を進めることができます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		大分県より安価な金額で広大な面積を有する施設を購入することができます。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題		敷地面積が広いいため、活用計画の作成及び改修工事に慎重な対応を要する。		
前年度の改善案				
具体的な改善案				

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	約47,000㎡を有する旧臼杵跡地は様々な活用の可能性があるため、今後検討を進めながら市民サービスの向上につながる施設整備を進める必要がある。
------	------------------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート  
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
A - 12	総務課	総務グループ

事務事業名		南津留地区コミュニティセンター整備事業					新規・継続 ソフト・ハード	新規 ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅱ-5-11	地域内交流・地域間連携						
	関連施策名 (施策コード)	Ⅶ-22-56	市政運営を支える基盤の強化						
		Ⅲ-8-15	防災・減災のための整備						
基本項目	事業内容 (経緯)	南津留連絡事務所の危険除去と、南津留地区振興協議会の拠点施設整備のためコミュニティセンターを整備します。							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値
					H25	H26	H27		
		①	コミュニティセンターの整備	南津留地区の整備箇所数	箇所				1
		②							
		③							
	事業対象	南津留地区の市民	成果	南津留地区コミュニティセンターの建設用地を購入し、建設工事を発注しました。完成予定は平成29年12月です。					
		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値
	成果指標				H25	H26	H27		
		振興協議会主催のイベント		回				4	6

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	20,308				18,700		1,608

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	判断基準	理由
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	南津留連絡事務所の危険除去は長年の課題であり、建替えに合わせて振興協議会の拠点施設として整備することは、市民ニーズに合致しています。
		行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	南津留地区振興協議会の拠点施設として、地域コミュニティの活性化に効果が期待できます。また、災害時の避難施設としても活用が可能です。
効率性		A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	現在の連絡事務所より安全で、駐車台数も確保できる場所に整備できます。	

事業の問題・課題	既存の連絡事務所跡地の活用方法について、整理する必要があります。
前年度の改善案	
具体的な改善案	

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	南津留地区コミュニティセンターは、同地域の地域振興協議会の活動拠点として、また災害発生時の地域住民の避難場所としても欠かすことのできない必要な施設であり、平成29年度中の完成を予定しています。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート  
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
A - 13	財政企画課	企画グループ

事務事業名	行政経営システム運用事業						新規・継続	継続		
						ソフト・ハード	ソフト			
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VIII-22-56	市政運営を支える基盤の強化							
	関連施策名(施策コード)									
事業内容(経緯)	平成12年度から実施してきたサービス検証システム(事務事業評価)や、その後導入された施策評価、市民アンケート、各課の運営計画等の行政活性化ツールを連携させ、予算編成に組み込むためのシステムを運用しています。									
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	市民アンケート回収率	配布数からみた有効回答率	%	33	40	44	46	45
		②	事務事業評価シート数	提出された事務事業評価シートの数	事業	197	187	190	202	200
		③	公共施設整備5カ年計画数	提出された整備計画の数	事業	292	370	349	363	350
	④									
事業対象	市民・職員		成果	市民アンケート結果も加味した施策評価や事務事業評価等を実施することで、職員の評価意識が醸成され業務の改善や市民への説明責任の徹底が図られました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	市民満足度平均点	市民アンケート調査の各施策の満足度(3点満点)の平均(H25は4点満点)	点	2.87	1.66	1.57	1.55	2.00		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	7,452						7,452

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	限られた財源の中で効率的・効果的な市政運営を行っていくためには、事業や施策の費用・効果を検証して改善や取捨選択を行い、計画的に事業を実施していく必要があるため、本システムを運用する必要性は高いと考えます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	各ツールを用いて評価を行うことで、市の最上位計画である総合計画に掲げる目標に向けての進捗確認が行われています。また、各評価結果も活用し、市としての重点施策が決定されています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	事務事業評価シートと主要な施策の成果との一元化を図ることができ、職員の事務負担軽減に繋がりました。
事業の問題・課題	主要な施策の成果と事務事業評価シートの一元化により、財政(予算)と評価の繋がりが見える形になりました。さらなる評価意識向上に努めるためには、事務事業評価、市民アンケート、施策評価を有機的に繋げ、それぞれのシート作成者が連動を意識し記入することが更なる改善等に繋がって行きます。		
前年度の改善案	通常年度に戻るため、余裕をもったスケジュールを運用します。また、事務事業評価シートを決算委員会における主要な施策の成果として代えることができないかを検討します。		
具体的な改善案	評価意識向上のため、事務事業評価、市民アンケート、施策評価を有機的に繋げ、それぞれのシート作成者が連動を意識し記入できる一覧表の作成を検討します。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	事務事業評価、市民アンケート、施策評価と一連の流れができつつあるが、これらの結果を予算編成等に繋げるなど有効活用を図る必要があります。
------	------------------------	----	---